

平成26年度 事務事業評価シート（大磯町議会）  
（平成25年度決算）

番号	2
----	---

委員会名	平成25年度決算特別委員会		
事務事業名	支援教育推進事業		
事業担当課－事業番号	学校教育課	－ 12	予算科目 教育指導費

（事務事業評価の結果）

（評価指標） 極めて高い－5 高い－4 普通－3 低い－2 極めて低い－1
---------------------------------------

項目	評価	評価内容	評価指標(委員平均)
妥当性 (評価指標の平均)	4	・社会情勢等を踏まえた中で実施すべきか	4.8
		・行政が行うべきか（税金を投入すべきか）	4.8
		・サービスが他の事務事業と重複してはいないか	3.6
		・サービスの対象や内容は適切なのか	3.3
		・町民全体のためになっているか（対象者が偏っていないか）	3.3
有効性 (評価指標の平均)	3.3	・事務事業の効果は上がっているか	3.6
		・事務事業の目標は達成できているか	3.3
		・設定した事務事業の目標は達成可能であるか	3.6
		・事務事業の目標が低く設定されていないか	3.1
		・職員等の人材活用は積極的にされているか	3.1
効率性 (評価指標の平均)	2.9	・コストの削減等を考えた場合に実施方法は適切なのか	3
		・提供するサービス内容を考えた場合に実施方法は適切なのか	2.9
		・地域、民間事業者等に委託することはできないか	2.6
		・事務事業に投入されている人員は適正なのか	2.5
		・受益者負担等の考え方は適正なのか	3.3

総合評価 (3項目の合計)	10.2	<p>（総合評価に対する理由と意見）</p> <p>町として本事業に力を入れて実施していることを評価し、教育活動の推進やニーズ等から事業としては継続すべきである。しかし、教育支援員の研修内容の充実や、保護者との協議、話し合いの充実など基本的な部分においてもっと積極的な改善・拡充が必要であると考え。子どもたちの状態に応じた適切な支援が望ましく、町側の事務事業評価結果の検証と以上の内容を踏まえ、適正な予算づけを考えてほしい。</p>
------------------	------	--

事務事業の方向性	1	拡充する	<p>（方向性に対する理由と意見）</p> <p>教育支援員として専門性のある者を配置できるのが理想であるが、専門性を求めるためには正規教職員の充実が必要となる。現在の状態で事業を進めるならば、教員及び支援員のさらなる研修の充実が必要である。そのためには、園児、児童、生徒の実態把握を行い、支援員の適正配置及び関係者との話し合いを推進すべきである。</p> <p>今後、園児、児童、生徒の数は減少傾向にあるが、社会状況の中で支援を必要とする子どもたちに対して、さらに充実させた支援を望む。</p> <p>また、特別支援学級の教職員数の定数等、現状に合った法律改正を神奈川県教育委員会等を通して国へ要望することを望む。</p>
	2	現状のまま継続する	
	③	一部見直しのうえ継続する	
	4	抜本的(事務事業の統廃合等)な見直しのうえ継続する	
	5	休止・廃止する	

（総合評価） 1－(14.1～15.0) 2－(11.6～14.0) 3－(8.6～11.5) 4－(6.6～8.5) 5－(0～6.5)
---